Obihiro Aoi Gakuen Information
学校法人 帯広葵学園

学園通信

◆2020年（令和2年）5月20日発行　◆Vol.34

故きを温ねて、新しきを知る ～葵学園のあしあと㉞～

大型アンパンマン遊具を導入

学校法人帯広葵学園
理事長　上野敏郎

平成26年夏、つつじが丘幼稚園のグランドの南側に大きなアンパンマンの滑り台が登場しました。学園創立50年を記念する事業の一つでした。子どもたちの夏休み期間中に工事は完成しました。休みを終えに久しぶりに登園する子どもたちのびっくりする顔を忘れることができません。

葵学園が積極的にアンパンマンのキャラクターを日常保育の中に取り入れたのは平成15年です。それまでも、その絵本の読み聞かせは行ってきましたが、積極的に園舎やバスにアンパンマンの絵を導入したのは平成10年4月、帯広の森幼稚園の新園舎完成後でした。帯広の森幼稚園は、昭和39年開園の葵幼稚園と昭和44年開園の葵南幼稚園を統合した新設幼稚園です。

実は、今の帯広葵学園はその前は帯広源照学園といっていました。源照学園は、平成2年開園の葵西幼稚園も含めて三つの幼稚園を経営していましたが、園児減少や園舎の老朽化対策を考え、二つの幼稚園で再スタートを切ろうと決断したのでした。その区切りとなる帯広の森幼稚園の園舎東側の壁一面に、にぎやかにアンパンマン、バイキンマン、そしてショクパンマンの絵が描かれたのは平成15年です。通園バスにも同じような絵が描かれました。そして10年が過ぎ、つつじが丘幼稚園にアンパンマンの滑り台が顔を見せたのです。

残念ながら、アンパンマンの生みの親であるやなせたかしさんは、平成25（2013）年10月13日、満94歳で亡くなりました。やなせさんはある本で「アンパンマンはぼくの子供であり、ぼく自身でもある。」と書いています。やなせさんは詩人でもありました。多くの詩を残していますが、そこから聞こえてくるのは、ご自分の人生観と照らし合わせて発する「絶望の隣は希望です。日はまた昇る」と説く声です。

このやなせたかしさんの人生論を、小さな子どもたちにいかに伝えるか、そこに保育の醍醐味があるような気がします。

十　勝　毎　日　新　聞

園児たちに大人気のアンパンマンの滑り台

（平成26年8月26日　十勝毎日新聞）

つつじが丘幼稚園 園庭に滑り台導入

つつじが丘幼稚園（奥野淳一園長、園児224人）の園庭に、巨大なアンパンマンの滑り台がお目見えした。早速、園児たちが滑り台の階段とは別に、クライミング用のスロープ（坂）もあり、園児たちの体力づくりに役立っている。

同園は、1990年の創設以来、アンパンマンの生みの親やなせたかしさん（故人）の理念を子供たちに伝えようと、絵本をはじめ、園内の至る所にアンパンマンのキャラクターを取り入れてきた。

同園を運営する学校法人帯広葵学園が今年、創立50年を迎えるのを機会に、シンボルになる遊具を設置しようと、アンパンマンの絵本を手がけるフレーベル館（東京）から購入した。遊具の材質は繊維強化プラスチック（FRP）製、一部鉄製と木製。地上からアンパンマンの頭上までの高さが4・9㍍、幅5・5㍍、奥行き3・3㍍。滑り台の階段とは別に、クライミング用のスロープ（坂）もあり、園児たちの体力づくりに役立っている。

同園の園庭は管内でも随一の広さで、緑に囲まれている。滑り台の頂上から見る景色は爽快。園児たちは、休み時間になると真っ先にアンパンマンの遊具を目掛けて走り出す。谷古宇みなみちゃん（5）は「アンパンマンが来てくれてうれしい」と笑顔。奥野園長は「安全に十分配慮して、園児たちに楽しんでもらいたい」と話している。（酒井花）

学校法人 帯広葵学園
〒080-0022
帯広市西12条南17丁目3　難波ビル2F
TEL 0155-23-7604 ／ FAX 0155-67-5778
URL http://www.obihiroaoi.ed.jp

帯広の森幼稚園　つつじが丘幼稚園　緑陽台保育園　012 青い鳥保育園
柳町保育園　あおいキッズハウス　あおいとりプラス　あおいキッズランド
東士狩保育所・南中保育所・西中保育所